



平成 17 年 12 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 11 月 11 日

上場会社名 片倉工業株式会社

（コード番号：3001 東証・大証第 1 部）

（URL <http://www.katakura.co.jp>）

代 表 者 役職名 代表取締役社長 氏名 岩本 謙三

問合せ先責任者 役職名 執行役員経理部長 氏名 中村 恭範 TEL (03) 3281-2471

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 法人税等の計上基準については、一部簡便的な手続を採用しております。
 その他影響額が僅少なものについても、簡便的な手続を採用しております。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 事業の種類別セグメント情報の事業区分の方法を変更しております。
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 17 年 12 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 1 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 12 月期第 3 四半期	36,274	3.8	2,703	-	2,713	-	1,529	-
16 年 12 月期第 3 四半期	34,957	-	-	-	-	-	-	-
(参考)16 年 12 月期	49,045		3,613		3,703		959	

	1 株 当 た り 四半期(当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17 年 12 月期第 3 四半期	43.53	43.26
16 年 12 月期第 3 四半期	-	-
(参考)16 年 12 月期	27.05	26.89

(注) 売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。
 前年の四半期実績は、売上高のみの開示であったため、売上高以外の前年同四半期実績及び増減率は記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期におけるわが国経済は、原油価格の高騰など、一部に不安要因はありましたが、企業収益の改善や個人消費の持ち直しなどによる国内民間需要に支えられ、景気は緩やかながらも回復基調で推移しました。

このような環境の中で、当社グループは、各事業領域での売上拡大を目指すとともに、原価低減を推進し収益の向上に努めてまいりました。

この結果、当第 3 四半期の売上高は、3 6 2 億 7 4 百万円（前年同期比 3 . 8 % 増）と予想を僅かながら下回りましたが、損益面については、コスト節減など効率的運営に努めたこともあり、経常利益 2 7 億 1 3 百万円、四半期純利益 1 5 億 2 9 百万円とほぼ予想通りに推移しました。

営業の概況を事業別に申し上げますと、次のとおりであります。

【繊維事業】

肌着・靴下等の衣料品分野は、秋冬物の肌着が天候不順により、パンティストッキングがパンツスタイルの定着等により、それぞれ伸び悩みました。

また、機能性繊維分野では、主力の水溶性繊維のソルブロンが、タオル等の無燃糸用途において安価な外国製品と競合し、苦戦を強いられました。

この結果、売上高は54億90百万円（前年同期比6.8%減）、営業利益は16百万円となりました。

【医薬品事業】

医療用医薬品は、循環器領域に特化した研究開発や営業活動を積極的に展開しましたが、取引先の在庫調整等の影響もあり、販売は伸び悩みました。

この結果、売上高は128億98百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益は17億58百万円となりました。

【機械関連事業】

消防ポンプ車関連は、国及び地方公共団体の厳しい財政状態を背景として、需要が低迷し、受注競争は厳しい状況で推移しました。

一方、農業用機械関連は、当期10月以降に見込んでいた売上の一部が7～9月に前倒しになったこともあり、当第3四半期では予想を上回りました。

この結果、売上高は75億42百万円（前年同期比15.7%増）、営業利益は21百万円となりました。

【サービス事業】

小売事業のホームセンターは、天候不順による季節商品の販売不振や店舗間競争の激化により苦戦しました。

また、ショッピングセンター等の開発事業においては、「コクーン新都心」（埼玉県さいたま市大宮区）の来館者数・売上等が予想を上回ったこともあり、好調に推移しました。

この結果、売上高は100億54百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は16億55百万円となりました。

【その他の事業】

「遺伝子組換えタンパク質の生産サービス」は、順調に推移しましたが、釣り餌が天候不順により売上が伸び悩みました。

この結果、売上高は2億88百万円（前年同期比11.2%増）、営業損益は研究費用も含まれているため1億11百万円の損失となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年12月期第3四半期	111,318	37,474	33.7	1,069.83
16年12月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)16年12月期	110,239	34,274	31.1	987.47

(注) 前年の四半期実績は、売上高のみの開示であったため、前年同四半期の財政状態については記載しておりません。

【財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等】

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10億78百万円増加の1,113億18百万円となりました。

流動資産は、当社の確定給付企業年金への移行に伴う年金給付債務の積立不足金の一括拋出がありました一方で、CP現先の償還や売上債権の回収等により現金及び預金が20億64百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金の減少31億96百万円、主として短期貸付金の減少によるその他の流動資産の減少30億79百万円により、前連結会計年度末に比べ41億80百万円減少の543億98百万円となりました。

固定資産は、減価償却等による有形固定資産の減少9億76百万円がありましたが、保有株式の株価上昇による投資有価証券の増加33億1百万円、主に前払年金費用の発生によるその他の投資等の増加29億19百万円により、前連結会計年度に比べ52億59百万円増加の569億20百万円となりました。

流動負債は、短期借入金の増加4億45百万円がありましたが、昨年9月に開業しました「コクーン新都心」の建設代金の手形が決済され、設備関係支払手形が31億76百万円、支払手形及び買掛金が11億98百万円それぞれ減少したため、前連結会計年度に比べ39億46百万円減少の193億82百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金の減少7億29百万円等がありましたが、主に「コクーン新都心」建設に伴う借入れを実行したことにより長期借入金が18億12百万円、保有株式の株価の上昇により繰延税金負債が10億68百万円それぞれ増加したため、前連結会計年度に比べ13億2百万円増加の364億67百万円となりました。

純資産は、保有株式の株価上昇によりその他有価証券評価差額金が17億65百万円、利益剰余金が12億15百万円それぞれ増加したため、前連結会計年度に比べ31億99百万円増加の374億74百万円となりました。

3. 平成17年12月期の連結業績予想（平成17年1月1日～平成17年12月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	50,000	4,200	2,100

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 59円64銭

[業績予想に関する定性的情報]

平成17年8月25日公表の業績予想に変更はありません。

上記の業績予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、不確実な要因に係る仮定を前提としております。したがって、実際の業績は、様々な要因の変化によって、記載している内容と大きく異なる結果となる可能性がありますので、ご承知おきください。

(添付資料)

要約四半期連結貸借対照表

区 分	当第3四半期末		(参考) 前連結会計年度	
	平成17年 9月30日		平成16年12月31日	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
(資産の部)				
流動資産				
1.現金及び預金	24,707		22,642	
2.受取手形及び売掛金	12,585		15,782	
3.有価証券	8,589		8,589	
4.棚卸資産	6,936		6,901	
5.その他	1,608		4,687	
貸倒引当金	27		23	
流動資産合計	54,398	48.9	58,579	53.1
固定資産				
1.有形固定資産				
(1)建物及び構築物	21,985		23,095	
(2)機械装置及び運搬具	1,284		1,327	
(3)土地	6,707		6,473	
(4)その他	852		910	
有形固定資産合計	30,829		31,805	
2.無形固定資産	194		197	
3.投資その他の資産				
(1)投資有価証券	21,415		18,114	
(2)その他	4,595		1,676	
貸倒引当金	114		133	
投資その他の資産合計	25,897		19,657	
固定資産合計	56,920	51.1	51,660	46.9
資産合計	111,318	100.0	110,239	100.0

区 分	当第3四半期末		(参考) 前連結会計年度	
	平成17年 9月30日		平成16年12月31日	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
(負債の部)				
流動負債				
1. 支払手形及び買掛金	6,303		7,502	
2. 短期借入金	4,330		3,884	
3. 1年以内返済予定長期借入金	347		298	
4. 設備関係支払手形	376		3,553	
5. その他	8,024		8,090	
流動負債合計	19,382	17.4	23,329	21.2
固定負債				
1. 長期借入金	5,154		3,342	
2. 繰延税金負債	6,989		5,920	
3. 退職給付引当金	5,529		6,258	
4. 役員退職慰労引当金	493		636	
5. 土壌汚染処理損失引当金	251		389	
6. 預り保証金・敷金	17,806		18,224	
7. その他	243		394	
固定負債合計	36,467	32.8	35,165	31.9
負債合計	55,850	50.2	58,494	53.1
(少数株主持分)				
少数株主持分	17,993	16.1	17,470	15.8
(資本の部)				
資本金	1,765		1,750	
資本剰余金	281		265	
利益剰余金	26,830		25,614	
その他有価証券評価差額金	8,612		6,847	
自己株式	16		203	
資本合計	37,474	33.7	34,274	31.1
負債、少数株主持分及び資本合計	111,318	100.0	110,239	100.0

要約四半期連結損益計算書

区 分	当第3四半期		(参考) 前連結会計年度	
	自 平成17年 1月 1日 至 平成17年 9月30日		自 平成16年 1月 1日 至 平成16年12月31日	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)
売上高	36,274	100.0	49,045	100.0
売上原価	23,007	63.4	30,798	62.8
売上総利益	13,267	36.6	18,247	37.2
販売費及び一般管理費	10,563	29.1	14,633	29.8
営業利益	2,703	7.5	3,613	7.4
営業外収益				
1.受取利息	15		23	
2.受取配当金	116		163	
3.雑収入	231		319	
営業外収益合計	363	1.0	506	1.0
営業外費用				
1.支払利息	215		129	
2.休止事業所経費等	64		239	
3.持分法による投資損失	1		0	
4.雑損	73		47	
営業外費用合計	353	1.0	416	0.8
経常利益	2,713	7.5	3,703	7.6
特別利益				
1.固定資産売却益	0		81	
2.投資有価証券売却益	3		167	
3.貸倒引当金戻入益	4		10	
4.受取保険金	154		-	
5.その他	-		31	
特別利益合計	162	0.4	290	0.6
特別損失				
1.固定資産処分損	202		183	
2.その他	17		148	
特別損失合計	219	0.6	331	0.7
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,656	7.3	3,661	7.5
法人税、住民税及び事業税	1,155	3.2	1,860	3.8
法人税等調整額	408	1.1	124	0.2
少数株主利益	380	1.0	716	1.5
四半期(当期)純利益	1,529	4.2	959	2.0

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

	当第3四半期 (自 平成17年1月1日 至 平成17年9月30日)							
	繊維事業 (百万円)	医薬品事業 (百万円)	機械関連 事業 (百万円)	サービス 事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	5,490	12,898	7,542	10,054	288	36,274		36,274
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	5			272		278	(278)	
計	5,495	12,898	7,542	10,327	288	36,552	(278)	36,274
営業費用	5,479	11,139	7,521	8,672	400	33,212	357	33,570
営業利益又は営業損失()	16	1,758	21	1,655	111	3,339	(636)	2,703

(注) 1 事業区分の方法は、製品・商品等の種類・性質と事業形態を考慮して区分しております。

2 各事業の製商品と事業内容

繊維事業.....各種絹製品、ファンデーション用生地、靴下、メリヤス肌着、ピニロン繊維、ブランドライセンス業等

医薬品事業....医療用医薬品

機械関連事業..自動車部品、工業用計器、農業用機械、消防ポンプ車、石油製品の輸出入販売等

サービス事業..ショッピングセンター、ゴルフ練習場、ホームセンター、カーショップ、ビル管理サービス業、不動産業等

その他の事業..訪花昆虫、遺伝子組換えタンパク質の生産サービス、研究等

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は500百万円であり、その主なものは、親会社の総務・経理・人事等で発生する管理部門に係る費用であります。

4 従来、事業の種類別セグメント情報の事業区分は、「繊維事業」、「非繊維の製造事業」、「サービス事業」、「その他の事業」としていましたが、当連結会計年度から「非繊維の製造事業」を「医薬品事業」と「機械関連事業」とに区分して表示することとしました。

なお、前連結会計年度のセグメント情報を新しい事業区分の方法により区分したものは次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成16年1月1日 至 平成16年12月31日)							
	繊維事業 (百万円)	医薬品事業 (百万円)	機械関連 事業 (百万円)	サービス 事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	7,948	18,869	9,490	12,375	360	49,045		49,045
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	15			365		380	(380)	
計	7,964	18,869	9,490	12,740	360	49,425	(380)	49,045
営業費用	7,793	15,367	9,770	11,124	506	44,562	869	45,431
営業利益又は営業損失()	170	3,501	279	1,616	145	4,863	(1,250)	3,613

(参考)

	前連結会計年度 (自 平成16年1月1日 至 平成16年12月31日)							
	繊維事業 (百万円)	非繊維の 製造事業 (百万円)	サービス 事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)	
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	7,948	28,360	12,375	360	49,045		49,045	
(2)セグメント間の内部売上高又は振 替高	15		365		380	(380)		
計	7,964	28,360	12,740	360	49,425	(380)	49,045	
営業費用	7,793	25,137	11,124	506	44,562	869	45,431	
営業利益又は営業損失()	170	3,222	1,616	145	4,863	(1,250)	3,613	

(注) 1 事業区分の方法は、製品・商品等の種類・性質と事業形態を考慮して区分しております。

2 各事業の製商品と事業内容

繊維事業.....各種絹製品、ファンデーション用生地、靴下、メリヤス肌着、ピニロン繊維、ブランドライセンス業等

非繊維の製造事業..自動車部品、工業用計器、農業用機械、医療用医薬品、消防ポンプ車、石油製品の輸出入販売等

サービス事業.....ショッピングセンター、ゴルフ練習場、ホームセンター、カーショップ、ビル管理サービス業、不動産業等

その他の事業.....釣り餌、訪花昆虫等

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は 1,067 百万円であり、その主なものは、親会社の総務・経理・人事等で発生する管理部門に係る費用であります。

2. 所在地別セグメント情報

当第3四半期及び前連結会計年度については、本国以外に所在する会社及び支店はありません。

3. 海外売上高

当第3四半期及び前連結会計年度については、海外売上高は、連結売上高に対する割合が僅少のため、記載を省略しております。